

令和 8 年 3 月 30 日

児童発達支援センターきらきら園 様

(評価者) 児童発達支援センター洛西愛育園 (大橋良輝)

令和 7 年度自己評価に係る外部評価の結果について (報告)

令和 7 年度自己評価の項目について、以下の通り外部評価を実施しましたので、評価結果についてご報告いたします。

1. 訪問日

令和 8 年 3 月 25 日

2. 外部評価の結果

項目		コメント
自己評価総括表 (別紙 3) について		園の支援の方向性が明確になっています。子どもへの支援はもちろん、保護者への支援を充実させ、子ども、保護者に寄り添った支援に取り組んでおられます。
自己評価シート (保護者用・事業者用) (別紙 4、5) について	環境・体制整備	活動によって部屋を使い分け、子どもにとって分かりやすい環境になっています。また、アンケート回答した保護者全員が生活空間が快適であるとされています。普段の職員の方の努力が感じられます。
	業務改善	委託での心理専門職員の配置や保育士アドバイザーによる定期的な研修を行い、支援の向上に努めています。
	適切な支援の提供	保護者は概ね高い評価です。職員評価も高いですが、中でも課題、改善すべき点が多く挙がっていることにさらなる支援の向上が必要とおられます。子どもの育ちの相談室やことばの相談室、あそびのひろば「きらきらパーク」の開催等、地域への取り組みが充実しています。
	関係機関や保護者との連携、保護者への説明等	子どもはぐくみ室深草支所が行うおあそび会に参加するなど関係機関との連携を行っています。きょうだい支援として長期休みの時にきょうだいが遊べる部屋を設け、保護者にも好評です。情報発信はホームページやブログで発信していますが周知に課題があり、今後取り組む予定です。
	非常時等の対応	災害時の訓練は行われていますが、保護者への周知することで保護者にとって安心感が持てるのではないかと考えられます。
保育所等訪問支援について		保護者、訪問先施設からの評価は高く、訪問準備から保護者への報告を工夫されて丁寧な支援が行われています。
その他		利用児の減少やインクルージョンとしての保育所等訪問支援の取り組み方等、共通の課題が見えました。今後、センターとして共有する必要を感じます。

